



北のシュプール

第486号

発行 北海道勤労者スキー協議会機関紙部 編集責任者 金濱 茂
 札幌市白石区平和通3丁目北 3-13-202 tel&fax:011-784-3272 郵便振替 02700-7-48231
 ホームページ: <http://www.wsah.info/> e-mail: wsaj.hokkaido@gmail.com

2023スキーシンポジウム

教育部副部長 小野寺 秀子 記

11月5日
 (日) 北海道
 高等学校教職
 員センターに
 於いて「2023
 スキーシンポ
 ジウム」が開
 催されまし
 た。



午前の部、講義①は、全国スキー協理事長小川 洋氏が青森のご自宅から「スキー協の活動」と「組織運営と指導員の役割」～テーマ 会員減少問題と指導員、リーダーの果たす役割～についてウェブで講義されました。私たちを取り巻く状況は、労働条件を考えてもスノースポーツを楽しむには難しい現



状にある。そのような中、スポーツを権利、文化として捉えるスポーツ基本法の再確認は重要である。また、指導員の役割として技術を磨き、任務を自覚して活動することが大切であると話されました。

講義②は、道スキー協教育部長三浦 学氏が「指導員規程の理解と運用、安全について」講義されました。指導員の任務、義務、権利について確認。行事の年度の押さえについても確認しました。また、スキーを安全にでは、安全なスキー技術を身に付

けることが大切。さらに、FISの10ルールに触れました。

午後の部は、マスターズレーサー 澤口 学氏が『スキーは楽しい!! もっと楽しむために…』～スキーが今以上楽しくなる僕の技術論を皆さんにお伝えします～と題して講演されました。最初、司



会者から澤口さんのこれまでの輝かしいスキー活動について紹介がありました。続いて、「スキー操作の基本」をテーマに、実際にスキーブーツを履き、ポールを持って①基本姿勢②体重移動のあり方③ターンの始動④ターン後半⑤ターン切り替えし⑥競技スキーでの滑走ライン取りについて解りやすくお話がありました。途中休憩を挟む間がないほど、参加者から次々と質問が挙がり、大変充実した講演となりました。

指導員40名、会員4名、ウェブ参加17名、合計61名の参加を頂きました。

第2回理事会報告

2023年11月4日(土) 於)エルプラザ
道スキー協副理事長 石川 芳昭 記

11月4日(土) 14時から札幌エルプラザで、正副会長4名、常任理事10名、理事16名(対面19名、ZOOM11名、計30名)で、第2回理事会が開催されました。今回の主要な議題は、第23期専門部等の体制確認と2023～2024シーズンの行事確認とクラブ活動の交流でした。

新役員体制では、提案通り了承されました、7月の総会以後、常任理事会で役員体制、各種行事の準備、実施は進めてきましたが、次期からは、総会終了後、速やかに理事会を開催する方向で話がありました。

行事の事では、次年度の「夏季クラブ交流会」は、旭川で行う事が確認されました。また、1月27日～28日に北長沼スキー場で行われる、北海道で初めて開催される「デモンストレーター選考会」と同時に開催される2回目の「スキーテクニカルコンペ」に沢山の参加者で成功させようという事になりました。今回のデモ選では、全国から検定員として荻原副会長、岡田技術教育局長、野瀬技術部長の三氏が来られ、27日はデモ選、コンペに向けて講習会も開催されます。この機会をみんなで生かしましょう。また、12月9日10日(土・日)の初中上級指導員研修会は、ホテルが確保できなかったため、宿泊は無しとなりました。理論研修は事前に全国中央研修会で使われたユーチューブの動画を見て参加することになりました。

クラブ活動の交流では、山スキーの参加者が多くなってきた、若い人が入ってきた(オフピステ)、持続的な拡大の会議に18名集まり、世代交代の必要性を確認の上、初級、中級の指導員受験に挑戦する(ナイスミドルフレンド)、芽室スキー場が閉鎖になり、学校のスキー学習が困っている。町や議会にお願いしたい(大平原)などの話ができました。

※道スキー協第23期新役員体制

会 長	島崎 徳明	江別フリーダム	理 事	近藤 博次	函館ナチュラルリスト
副 会 長	佐々木孝雄	釧路たんちょう	//	齊藤 進一	札幌スキーフレンド
//	立岡 一男	ジョイフルSC	//	齋藤 友子	スカディ
//	武田 彰	ナイスミドルフレンド	//	佐藤 久輝	大平原
理 事 長	三浦 裕子	札幌スキーフレンド	//	塩野谷勝子	オフピステ
副理事長	石川 芳昭	スカディ	//	清水美枝子	釧路たんちょう
事務局長	金浜 茂	ぎやろっぷ	//	田代 敏宏	スカディ
常任理事	鵜野富美子	羊ヶ丘スラローム	//	田附 豊	江別フリーダム
//	大野 祥子	札幌スキーフレンド	//	羽川 隆雄	ゆきうさぎ
//	五十嵐佳葉	グロウSC	//	中井 哲也	ナイスミドルフレンド
//	小野寺秀子	札幌スキーフレンド	//	前橋恵美子	ナイスミドルフレンド
//	西飯 弘行	岩見沢ホワイトフレンド	//	宮腰 郁子	岩見沢ホワイトフレンド
//	三浦 学	ぎやろっぷ	//	村中 英雄	江別フリーダム
//	山口くに子	北のメルヘン	//	山崎 雄二	札幌スキーフレンド
理 事	板垣 尚美	江別フリーダム	//	渡邊 公平	大平原
//	岩澤 史朗	ピスタアリアンヌ	会計監査	梁田恵美子	ナイスミドルフレンド
//	小野 瑤子	ナイスミドルフレンド	//	本間 慧子	キャンターSBC

全国スキー協33期第2回理事会報告

全国理事 三浦 裕子 記

11月12日(日)13時からオンラインで第2回全国理事会が開催されました。参加者は北海道から福岡まで34名。冒頭、和田会長は「神戸も寒くなり六甲山も紅葉が始まった。異常気象の昨今、農作物にも影響が出ている。ウインタースポーツの危機だということでPOWJAPANへのサポーター契約の提起されている。各地ではシーズンの準備を万全に進めスキー協の良さを広めて欲しい」と挨拶され、続けて各部局からこの間の報告とシーズン行事予定などが提案されました。今会議では都道府県の今シーズンの新しい方針を共有し合い、運動をどのように発展させていくのかなど意思統一を行いました。資料として、組織アンケートに記載した特徴的な内容を代表者が補足発言しました。豪雪地新潟では魚沼市長が3年前に代わり、小学校のスキー授業が1日増えたこと、岩手県は来年創立40周年を迎えること、群馬ではプロにHP作成を依頼して会員増に繋がっていること、神奈川では高齢者にはHPやSNSが、逆に若者には声掛けの方が有効と思う、また、体育施設にスキー行事のチラシ掲載をお願いし一般参加の申込みがあった、千葉は1クラブ増の4クラブになったなどが特徴的でした。私は議案にもあった北海道初開催のデモ選の宣伝や合同バス例会実施、各行事がコロナ前に戻り実施することなどを発言しました。第50回全国競技大会には北海道で5名の選手派遣を割り当てられました。

理事会では、POWJAPANのサポーターになることと全国競技大会の種目内容が承認され、締めには荻原副会長が「暖冬だとかリフト券の値上がりなど大変な状況はあるが、あと何年スキー場に行けるかと思うと行くしかないねと仲間と話している、核心を突いたスキー協の技術を広め会員を増やし元気なスキー協になるよう頑張りましょう」と挨拶され、17時に会議は終了となりました。

*POWJAPAN : 一般社団法人 Protect Our Winters Japan

第23回総会にて副会長就任にあたって

NMF スキークラブ 武田 彰 記

道スキー協の皆様こんにちは、この度の第23回総会に於いて、道スキー協の副会長になりました、NMF スキークラブの武田 彰と申します。私ごと、自己紹介をしますと、長くなりますが宜しくお願い申し上げます。



生まれは、話題のスキーリゾート地、羊蹄山・ニセコ地域 倶知安町字旭スキー場の地に生まれ、幼少の頃から、実家の裏山の旭ヶ丘スキー場でスキーを楽しんでおりました。小学生4~6年の学校のスキー大会では、兄弟揃って表彰台を独占した時もありました。やがて、中学校から高校へ、スキーの御縁が有り、道内の乳業メーカーへ就職し、結婚を契機に札幌市に移り新たな道に転換し、冬のスポーツとは縁が遠い、燃料販売(白灯油・ガス)に係わる事になりました、私の住居地域にスキー協会員の岡 実ご夫婦が住んで居られました、妻は私より先にNMF スキークラブに入会していましたが、当の私は年齢が若く50歳を過ぎなければ入会できないと言う大変な掟が有りしばらく待って入れて頂きました。若手一番乗りでした。初めての総会に参加し、NMF スキークラブとの初の対面でした、今思うとここからが道スキー協とのお付き合いの

始まりでした。

年を明けてから早々に足前も分からず、指導員部長 菱沼晃義から初級指導員受験を勧められ見事不合格、翌年何とか合格その後中級1回不合格そして中級合格結果4年掛かりました、受検に際し今沢勲雄 和子ご夫婦、土橋世子さんには並々ならぬお世話になりました。

中山峠の春の合宿、まだ若ったあの頃、いい思い出になります。あの経験を現在もクラブ内指導員研修に生かし、新たに会員に成られた方に道スキー協の方針を分かりやすく、理論・技術を伝え、スキーの楽しさ、クラブの仲間との交流を大切に、思い切った発想で、全道のスキー愛好家に呼びかけて行きたいと思っております。微力では有りますが、まずは自分のクラブで大いに話し合い、学び合い、そして団結し前に一歩ずつ歩んで行きたいと思っております。宜しくお願いいたします。

道スキー協理事になって



札幌スキーフレンド 齊藤 進一 記

理事に任命されました、札幌スキーフレンド所属の齊藤です。これまでも道スキー協の行事等には、何らかの形で携わる機会も多々ありましたが、今後は理事の一人として方針の決定やその実践に、微力ながら役割を果たしていきたいと思っています。

語りや印象は、なめらかで柔らかくユーモアをもって？と努力はしているのですが、いざスキーの滑りとなると思いとは裏腹に、ぎこちなく硬い……。これは何とかせねば……。

スキー協の基本は、クラブでの活動です。会員ひとり一人がスキーを通して生涯のスポーツとして親しみ、余暇を大いに楽しむ事だと思っています。これからも気負わずクラブの発展とスキー協の発展に、努めて行きたいと思ひます、今後もよろしくお願い致します。

各部からのお知らせです

【事務局より】

2024年シーズンのテイネハイランドスキー学習券について

大人 2,600円 子供 2,400円になりました。

すでに例会を予定しているクラブは早めに日時・人数を連絡

下さい。担当者 事務局 金濱 茂まで

第1次締め切り 12月10日 第2次締め切り 12月17日です

北海道スキー協のFacebook<公開用>を開設しました。道HPからも開くことが出来ます。会員の皆さんの中で、Facebookを楽しまれている方は、登録して頂ければ幸いです。投稿の内容は、道スキー協の各行事、各クラブの行事、スキー関連となりますが、すべて公開されますので、くれぐれもプライバシーには配慮し、個人を特定できる写真や内容は、当事者の許可を得てから投稿してください。



<https://www.facebook.com/groups/1500127367223740/>

【技術部より】

第21回全国スキー協デモンストレーター選考会 &第13回テクニカルコンペ 北海道で開催！！

北海道初開催の大会をみんなのチャレンジで盛り上げよう！

2024年1月28日(日)

●スキーテクニカルコンペ(4種目) 参加費 4000円
大回り、小回り、コンビネーション、不整地小回り

●デモンストレーター選考会(8種目) 参加費 8000円

初歩の平行ターンⅡ、ベーシック平行ターン、洗練の平行ターンⅠ、真下への横滑り左右連続、大回り、小回り、コンビネーション、不整地小回り

申込:kayou_iga715@yahoo.co.jp 事務局 五十嵐

〆切 12/16

※STT3種目の点数は検定会で使うことができます

27日の参加者限定事前講座
(1,500円)は教程作成メンバーの特別レッスン！
超オススメです！！